

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者:坂田

イベント名:

令和元年度 まるごと活性化「語り部部会 館外研修」

日時: 令和2年2月4日(火)午前8時30から午後4時まで

場所: 坂本方面

参加者: 語り部部会メンバー9名、会館2名

開催結果

内容

語り部部会の研修は、「麒麟がくる」で有名になっている、大津市坂本で行いました。当日の講師には、坂本城を考える会の事務局長を務められている、山本正史さんをお願いしました。

案内は、下阪本市民センターから開始し、外堀、坂本城址の石碑、東南寺、明智塚、坂本城の石垣など、坂本城ゆかりの地を巡り、最終目的地の坂本城址公園まで歩いて回りました。

歩いて巡りながら、意見交換をしつつ案内をするときの注意点などを聞いておられました。

歴史的な流れを把握していることが、説明をするときに重要だと実感しておられました。また、歴史には、まだ解明されていない部分も多く存在し、様々な説があるため、説明の時は明言を避け、濁すことが重要であるとお聞かせいただきました。今後は、自分たちの語りの手法として取り入れていこうと相談しておられました。

昼食後は、聖衆来迎寺を拝観させていただき、住職さんのお話を聞きながら、国宝や重要文化財などを見させていただきました。聖衆来迎寺は、比叡山延暦寺の焼き討ちを免れたため、数多くの仏像などが、重要文化財に指定されています。

その後、西教寺の境内を見学に行きました。西教寺は、比叡山延暦寺の焼き討ちの際に焼失し、明智光秀が復興に尽力したとされ、境内には明智一族の墓が建てられています。

今回の研修を通して、自分たちの語りのための知識をいれ、今後ますますの語りの向上にむけ、勉強に熱が入ってしっかりと学んでいってほしいです。

